労働者団結せよ!!

（権浜船渠全社争議ニ関スル宣伝ビラ）

▨いくら多数でも散ルバーでは力はないのだ。少数が団結した時は、初めて力がある。

▨労働者の団結が即ち組合だ。組合の無い労働者は、力のない労働者だ。力の無い労働者は永久に資本家の奴隷である。

▨然しいくら組合が大きくなっても三人五人づつ、思ひ思ひの組合が大きくなったのでは、何の力もないのだ。

▨吾々は先づ第一に、この全社の工場に働いてゐる労働者全体の一大組合を造らねばならぬ。それには各工場各々の労働者から、五六名宛の工場委員を選挙し、この委員が合同で指導すればよい。

▨第二には、この全社だけの組合が出来たなら、他の鉄工や機械工の組合と聯合して共同行動を取らねばならぬ。これで吾々は初めて偉大な力が出来てくる。吾々は常に勝つ、そしてこの時こそ勝利は吾々のものである。

▨今度の争議に勝っても敗けても、吾々は必ずこの機械に組合を組織しなければならぬ。吾々労働者の生活は、絶えず毎日やかましい闘で居る。吾々の生活は不断の闘ひである。だから何時でも闘ひの準備が出来ておらねばならぬ。

▨同志よ、諸友よ、吾々は今度の争議によって、団結の必要を知った。吾々の力は只団結である。いざ吾々の組合を組織しやう！－この争議に勝ったなら勝利を永久に保つために！この争議に負けたら、近い未来に勝利を得るために－

吾々が勝たねば敵は勝つ!!

▽労働運動は資本家階級と労働階級との戦争だ。進んで吾々が勝たなければ、資本家は吾々を征服する。

▼この階級の戦争に勝つ為めには、そして労働階級を征服する為には、資本家は手段を撰ばない。

▼彼等は吾々から搾り取った莫大な金で、吾々の団結を切崩さうとする。警官のサーベルで吾々を追ひまくる。それでも駄目なら軍隊の力を借る。

▼此の間の神戸の争議は、明かにこれを語ってゐる。

▼して見れば、警官も法律も、軍隊も、有ゆるものは、資本家が吾々労働者を壓服し征服する武器になる。

▼しかし吾々労働者にも、有力な武器がある。組合は吾々の軍隊だ。罷業は吾々の戦争だ。吾々はサボタージュといふ武器もある。ピケッチング（見張り）といふ武器がある。それでも駄目なら、吾にはもっと大きな力もある。

▼労働運動は資本家階級と労働階級との戦争だ。進んで吾々が勝たなければ、敵は必ず吾々を征服する。

▼敵は此の戦に勝つ為めには、如何なる手段にも訴へる。如何なる武器をも選ばない。

▼何故吾々労働者だけが、資本の最も恐れる手段と武器を用ひてはならぬのか。

吾々の運命は一戦にあり!!

（青年者発売頒布を禁止せらる）

（権浜船渠争議）